



ハイブリッド防潮堤 国土交通大臣から受賞!

当社のハイブリッド防潮堤が第17回国土技術開発賞の優秀賞を受賞しました。7月30日に開催された表彰式には、狩野社長と受賞者が出席、表彰状と副賞を太田国土交通大臣から授与されました。



左から、田中室長、狩野社長、奈良GM、小川さん

◀太田国土交通大臣より表彰状を授与される狩野社長

受賞の決め手!

“超”急速施工が可能 & 現地作業のミニム化

ハイブリッド防潮堤は工場製作したプレキャストブロックを現場輸送し、事前に打設した基礎杭に挿入することで短期施工ができます。また、被災地では同時に多数の復旧工事が行われ、資機材や人手が不足しており、現地負担を最小限にとどめられる点も評価されました。

◎「ハイブリッド防潮堤」のメリット

- 現地工期 ⇒ **6割削減!**
- 現地作業 ⇒ **工数8割削減!**
- 現地生産資材 ⇒ **8割以上削減!**
(生コンなど)

※同等の強度を求められるコンクリート堤との比較



岩手県山田漁港のハイブリッド防潮堤

迅速復旧に向け、短期開発

栈橋の鋼製ジャケットやハイブリッドケーソンといった当社既存製品の要素技術を組み合わせる結果、約1年という短期間で開発することができました。今後は、東海、東南海、南海トラフ地震等による津波対策として、それぞれの現地ニーズに合致した防潮堤を開発する予定です。

沿岸鉄構事業部 営業部開発室長 田中 祐人



採用実績
(2015年7月現在)